

平成 29 年度 自己評価表

郡山学院高等専修学校

1 教育目標

- (1) 社会性を養成し、職業人としての意識をもつ生徒を育成する。
- (2) 資格取得を通じて、目標に向かって努力できる生徒を育成する。
- (3) 社会のルールを守り、他者に対しておもいやりをもち、協調性のある生徒を育成する。

2 基本方針

- (1) 基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (2) 基礎学力を身につけさせる。
- (3) 資格取得の意識を高め、職業意識を高揚し向上心をもたせる。

3 今年度の重点目標

- (1) 入学定員(50名)、および年度末の総定員(150名)の確保。
- (2) 退学者の減少。
- (3) 進路先決定率の向上。
- (4) 創立 50 周年を飾るにふさわしい実績づくりを検討し、実現に向けて努力する。

4 評価項目の達成、取組状況

(1) 教育理念・目標

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------|---------|
| 学校の理念・育成人材像は定められているか。 | 4・3・2・1 |
| 学校における職業教育の特色は理解されているか。 | 4・3・2・1 |
| 社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。 | 4・3・2・1 |

(評価 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)

ア 課題

特に問題はない。

イ 改善方策

特にない。

(2) 学校運営

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------|---------|
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | 4・3・2・1 |
| 運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか。 | 4・3・2・1 |
| 人事・給与に関する規定等は整備されているか。 | 4・3・2・1 |
| 地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか。 | 4・3・2・1 |
| 情報システム化等業務の効率化が図られているか。 | 4・3・2・1 |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

特に問題はない。

イ 改善方策
特にない。

(3) 教育活動

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------------|---------|
| 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | 4・3・2・1 |
| 育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか。 | 4・3・2・1 |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | 4・3・2・1 |
| 資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か。 | 4・3・2・1 |
| 人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか。 | 4・3・2・1 |
| 教職員の能力開発のための研修が行われているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

能力開発や人材育成のための研修は実施しているが、職員の高齢化に伴い定年退職をする職員の業務を少しずつ他の職員で分担し引き継いでいくことが必要である。

イ 改善方策

校務分掌業務をマニュアル化し、ジョブローテーションを実施する。

(4) 学習成果

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------|---------|
| 就職率の向上が図られているか。 | 4・3・2・1 |
| 資格取得率の向上が図られているか。 | 4・3・2・1 |
| 退学率の低減が図られているか。 | 4・3・2・1 |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

- ・検定試験教科ごとの合格率に差がある。
- ・2, 3年生で不登校による退学者がでてしまった。

イ 改善方策

- ・合格率の低い教科については、理解度を上げるために解説のプリントを作成し、放課後に補習を実施する。
- ・担任以外の職員と生徒との面談を実施し、中だるみをさせない指導をする。

(5) 生徒支援

| 評価項目 | 評価 |
|-------------------------------|---------|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | 4・3・2・1 |
| 生徒相談に関する体制は整備されているか。 | 4・3・2・1 |
| 生徒に対する経済的支援体制は整備されているか。 | 4・3・2・1 |
| 上級学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか。 | 4・3・2・1 |
| 保護者と適切に連携しているか。 | 4・3・2・1 |
| 卒業生への支援体制はあるか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

特に問題はない。

イ 改善方策

特にない。

(6) 教育環境

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------------|------------------|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 | 4・3・ 2 ・1 |
| 防災に対する体制は整備されているか。 | 4 ・3・2・1 |

ア 課題

保護者アンケートでは、施設設備への評価が低い。

イ 改善方策

2F ワークプロ室とトイレの壁と床を補修した。これからもできるだけ整備していきたい。

(7) 生徒の受入れ募集

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------|-----------------|
| 生徒募集は適切に行われているか。 | 4 ・3・2・1 |
| 生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 | 4 ・3・2・1 |
| 学納金は妥当なものとなっているか。 | 4 ・3・2・1 |

ア 課題

本校のような、高等専修学校と高等学校との違いが認知されていない。

イ 改善方策

高等専修学校と高等学校との違いや、本校の特長を文書化して、それを配布し説明する。

(8) 財務状況

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------|---------|
| 中長期的に学校の財務状況は安定しているか。 | 4・3・2・1 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | 4・3・2・1 |
| 財務について会計監査が適切に行われているか。 | 4・3・2・1 |
| 財務情報公開の体制整備はできているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

適正に行われている。

イ 改善方策

特にない。

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | 評価 |
|--------------------------------|---------|
| 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 | 4・3・2・1 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | 4・3・2・1 |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 | 4・3・2・1 |
| 自己評価結果を公開しているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

問題はない。

イ 改善方策

特にない。

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 評価 |
|----------------------------------|---------|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | 4・3・2・1 |
| 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。 | 4・3・2・1 |

ア 課題

年2回の献血協力、地域の清掃ボランティア、「第九の会・はもる会」ボランティア、近隣の神社の落ち葉ひろい等を実施している。献血をする生徒は微増した。

イ 改善方策

ふだんから「おもいやりの心」と「命の大切さ」を理解させるように指導する。

5 総合評価

- ・入学者は53名（定員50名）で、昨年より6名減となった。体験入学会への参加者数は昨年とあまり変わらないので、体験入学会に参加した生徒の出願数が減少したことが、入学者減の原因であると考えられる。体験入学会をより魅力的にして、出願数を増加させ入学者を増やしたい。
- ・進路決定は、3年連続で就職内定率100%進学決定率100%を達成することができた。
- ・大会参加では、全国電卓大会団体準優勝・個人2位、全国簿記大会団体3位・個人優勝、全国高等専修学校体育大会女子卓球団体優勝・個人2位などの実績をあげることができた。